

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様	報告者	議員名 北森 徹
研修会名	全国市議会議長会研究フォーラム -主権者教育の新たな展開-	
日 時	第1日 令和 6年 10月 9日 13時00分～16時30分 第2日 令和 6年 10月 10日 9時00分～11時00分	
場 所	トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）	
<p>【研修の成果】</p> <p>「地域議会の課題と主権者教育」</p> <p>主権者教育の新たな取り組みとして、議長会による主権者教育の推進</p> <p>○地方議会の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率の低下 ・無投票当選の増加 ・議員の性別や年齢層の偏りなど <p>○議会に対する関心を高め、理解を含める主権者教育を一層推進すること</p> <p>○いわゆる出前講座や模擬議会など、議会自らが主体的に行う主権者教育の取り組みに対する支援を講ずること</p> <p>「若き市民の参加」、議会という「場」を使う</p> <p>日本財団が実施する18歳意識調査2024では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、政治に関心が特別低いわけではない 2、自分で国や社会を変えられと思っている 3、社会のために役立ちたいとそこそこ思っている <p style="text-align: center;">↓</p> <p>政治に関心がないから選挙に行かないというよりも、どうせ変わらないから選挙に行かないということがわかる。一方で、社会のために役立ちたいとも思っている。</p> <p>伊賀市においても、市長・市議会議員選挙の投票率も60%くらいで残りの40%が選挙に行っていない。</p> <p>市民の皆さんも、どうせ変わらないと思っている人も多くいると思いますが、市長や議会が伊賀市を創るのではなく、市民の皆さんが主役で市民の声を市政に反映させて市政運営していくものです。今の伊賀市の市政運営は、市民の声を反映させているのかをもう一度議会でも考えながら、市民の皆さんが、自分たちで伊賀市を創ると思ってもらえるように考えていき、小学校や中学校でも主権者教育の重要性を学んでいけるように提案してまいります。</p>		
費 用	旅費： 72660円 研修参加費： 9000円 合計： 81660円	

領収書等添付用紙

議員名

北 森 徹

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

項目ごとに領収書添付

- ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。
- ・両面になっているものは、全面に糊付けせずに裏面が確認できるように添付すること。
- ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。
- ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月26日

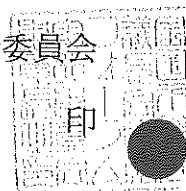
伊賀市議会 北森 徹 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金9,000円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)



領収証 RECEIPT

伊賀市議会 北森 徹 様

登録番号 : T8010701012863

No. 2024-2297-00230

発行日 : 2024年11月8日

下記の金額正に領収いたしました。

株式会社JTB
盛岡支店

¥21,400*

2024年10月8日～2024年10月11日

但し 第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡の宿泊代金として

※軽減税率対象

取引日	品名	単価	利用数	金額	備考	消費税
	宿泊代金	¥21,400	1	¥21,400		10%
合計				¥21,400		
代金計				(税込)	うち消費税	
				¥21,400	¥1,945	
(10%対象)				¥21,400	¥1,945	

9月26日、銀行振込にて入金

出納責任者	
取扱者	



収入
印紙

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

旅程明細書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会			氏名	北森 徹						
用務名(目的・場所)	第19回全国市議会議長会研究フォーラム											
	トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)岩手県盛岡市内丸13-1											
用務従事期間 (時間)	従事 月日	10月9日			従事 時間	13:00 ~		18:30				
		10月10日				9:00 ~		11:00				
		月 日				~						
出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小計	日当	宿泊料	夕食代	朝食代	
				路程 km	運賃 円	急行料金 円						
10月8日	柘植	JR	名古屋	79.9	11,280	4,920	44,860	1,500	10,700	1,700	円	
	名古屋	新幹線	東京	366.0								
	東京	新幹線	盛岡	535.3								
10月9日								1,500	10,700	1,700	円	
10月10日	盛岡	新幹線	東京	535.3	11,280	4,920	44,860	1,500	10,700	1,700	込	
	東京	新幹線	名古屋	366.0								
	名古屋	JR	柘植	79.9								
計							円	円	円	円	円	
							44,860	3,000	21,400	3,400	円	
							合計	72,660				円

JR片道600*を超え往復券購入 片道12,540×0.9=11,286≒11,280 11,280+11,280=22,560

領収書等添付用紙

議員名

北森 徹

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

項目ごとに領収書添付

- ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。
- ・両面になっているものは、全面に糊付けせず裏面が確認できるように添付すること。
- ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。
- ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。

領 収 書

Receipt
 領収年月日 2024-9-10 登録番号: T1120001059675
 領収金額 ¥89,720 (消費税等込み) 税10%

上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類
 (40018 12枚)
 西日本旅客鉄道株式会社
 伊賀上野駅F1発行 50019-02

印紙税申告納
 付につき大淀
 税務署承認済

10/8 栢植～盛岡

運賃 11,280円

特急券 4,920円 (名産～東京)

特急券 6,230円 (東京～盛岡)

10/10 盛岡～栢植

運賃 11,280円

特急券 6,230円 (盛岡～東京)

特急券 4,920円 (東京～名産)

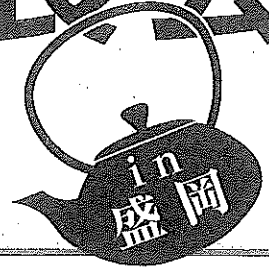
44,860円 × 2名分 = 89,720円

北森議員, 川上議長

領収証原本は 川上議員の領収証に添付

第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



参加のご案内

開催日：令和6年10月9日(水)・10日(木)

場 所：トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)

主催：全国市議会議長会 後援：総務省

協賛：全国市議会議員互助会 (有)都市企画センター

実施：第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

◆タイムスケジュール（変更）



第1日目 10月9日(水) [会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）]

- 11:00 受付開始
11:30 開場
13:00 開会式
13:20 ビデオメッセージ
菅 義偉 第99代内閣総理大臣
ほか
13:50 休憩
14:20 パネルディスカッション
「地方議会の課題と主権者教育」
コーディネーター 井柳 美紀 静岡大学人文社会科学部法学科教授
パネリスト 土山 希美枝 法政大学法学部教授
越智 大貴 一般社団法人WONDER EDUCATION
代表理事
渡辺 嘉久 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局
遠藤 政幸 盛岡市議会議長
16:20 次期開催地挨拶
16:30 終了
17:40 意見交換会
[ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4階「メトロポリタンホール」]
18:40 意見交換会終了

第2日目 10月10日(木) [会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）]

- 8:30 開場
9:00 課題討議
「主権者教育の取組報告」
コーディネーター 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授
事例報告者 白鳥 敏明 伊那市議会前議長
諸岡 覚 四日市市議会議員（第83代議長）
服部 香代 山鹿市議会議長
11:00 閉会式
11:30 視察

※登壇者は、変更になる場合もございます。

主権者教育の新たな展開

静岡大学人文社会科学部 井柳美紀
iyanagi.miki@shizuoka.ac.jp

地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた 主権者教育の推進に関する決意

先日の常任委員会において、三議長会が最重要課題として国に要望を行ってきた「地方議会の運営及び議員の候補等の明確化などを内容とする改正地方自治法」が成立し、

- 議会は、住民が選挙した議員をもって組織されること
- 議会は、議決により地方公共団体の重要な意思を決定すること
- 議員は、住民の負託を受け、誠実にその職務を行うことが明文化された。

地方議会は、選挙率の低下や無投票当選の増加、議員の性別や年齢構成の偏りなどの課題を抱えており、この法改正を踏まえて、議会とは何かを住民にしっかり理解いただき、女性や若者など多様な人材の議会への参画を一層進めていくことが必要である。

そのためには、各議会が、更なる改革に努め議会の活性化を図り、議会の重要な役割について住民の地方自治を担うこともたちを含め、広く住民に理解が得られるよう取り組んでいかなければならない。

中でも、いわゆる主権者教育の取組は重要であり、三議長会では、これまで、議員と社会や校長会などの学校関係者との間で改正地方自治法の内容について情報提供を行い、同法を踏まえた主権者教育が推進されるよう取り組んできた。

今後は、各議会の主権者教育に係る予算の削減が一層進捗するとともに、議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を国民運動として取り組んでいく必要がある。

さらに、各議会の主権者教育の取組については、議員自らが積極的に携わり、議会・議員の活動を伝えていくことで、こどもたちの認知に繋がるものとしていくことが重要である。

人口減少や高齢化など社会を取り巻く環境が更に厳しさを増す中、将来の地方自治を担うこともたちに、住民自治の根幹をなす地方議会への関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進するため、次の事項を早急に実現するよう求める。

- 一、 議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進すること。推進に当たっては、「地方議会が地方公共団体の重要な意思決定を行う」など地方議会の役割が明確化された今回の地方自治法改正を反映したものとする。
- 一、 いわゆる出前講座や模擬議会など、議会自らが主体的に行う主権者教育の取組に対する支援を講ずること。

令和5年12月21日

全国都道府県議会連合会
全国市議会連合会
全国町村議会連合会

議長会による主権者教育の推進

○地方議会の課題

- ・ 投票率の低下
- ・ 無投票当選の増加
- ・ 議員の性別や年齢構成の偏り、など

○ 議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進すること。

○ いわゆる出前講座や模擬議会など、議会自らが主体的に行う主権者教育の取組に対する支援を講ずること。

課題討議:「主権者教育の取組報告」

地方議会と主権者教育

東北大学大学院情報科学研究科
准教授 河村和徳

理想と現実

実践経験の場が減っている

• 理想

- 主権者教育は、基本的にシチズンシップ教育であるべき
- 地域の社会的課題を自ら認識し、経験を含めた形で社会を改善していく力を養う方向に持っていくべき
- 社会には多様な意見があり、多様な意見があることを理解する(→ディベート)

• 現実

- 知識の享受(制度の理解)が中心、正解を教えようとする
- 投票者重視(模擬投票)の教育
- 実施の主体が「公(教育委員会、選挙管理委員会)」・・・連携の不十分さ